

# ドイツ語入門 Introduction to German

素養科目 1年/前期 1単位 選択必修科目

科目責任者	岩井 智子、澤元 互、宗宮 朋子
授業担当者	A組 1班：岩井 智子、A組 2班：宗宮 朋子 B組 1班：澤元 互、B組 2班：岩井 智子 C組 1班：宗宮 朋子、C組 2班：澤元 互

## ■教育目的（各クラス共通）

新しい外国語との出会いは、新しい世界との出会いを意味します。それはさまざまな発見に満ち、私たちの知的好奇心を大いに刺激してくれます。また、外国を知ることによって日本という国を改めて理解し、自分のこれまでのものの見方や考え方、感じ方を問い直す契機にもなるでしょう。

ドイツ語は、母国語としているドイツ、オーストリア、スイスなどの国々だけでなく、東欧諸国でも広く通用し、ヨーロッパではロシア語に次いで多く話される言語です。ヨーロッパのほぼ真ん中に位置するドイツは9つの国々と国境を接していますが、言語や文化を異にする国々が、どう互いに平和的に共存し繁栄しうるのが、ヨーロッパ共同体（EU）が取り組んでいる壮大な試みに世界が注目していますが、その牽引力としての役割をドイツは果たしています。

明治以来、日本はドイツから多くを学び、近代化を成し遂げました。医学・薬学や物理、化学など、特に近代科学の分野での日本の発展は、ドイツとの関わり抜きには語れないものです。これからの日本が進むべき道筋を考える上でも、ドイツなど、ヨーロッパ諸国の歩みは重要な道しるべとなるにちがひありません。

ドイツ語を楽しく学びながら、世界の情報を少しでもより客観的に捉えられるよう、自身の言語理解力、コミュニケーション能力を高めていきましょう。

## ■学習到達目標（各クラス共通）

1. ドイツ語の発音を学び、やさしい文章を音読できる。
2. 初歩の基本文法を学び、ドイツ語のアウトラインを理解する。
3. 基本語彙と基本文例に慣れ親しみ、簡単な日常会話力を養う。
4. 辞書を使って、平易な文章が読める力を身につける。
5. ドイツやヨーロッパの文化や社会生活などを知り、日本と比較しながら、幅広い視点を養う。

## ■授業内容

### A組 1班 岩井 智子

教科書の前半を扱います。（後半は、後期科目「ドイツ語基礎」で引き続き学びます。）この授業ではドイツ語文法の基礎事項を学習します。

また、練習問題をこなすことで文法事項の定着をはかります。さらにドイツの日常文化をテーマとした平易な会話を練習することで、ドイツ語表現の理解を深めるとともに、学習をつうじて異文化への関心を高めることを目指します。

NO.1～2 : 導入、アルファベットと発音  
ドイツ語の発音、数詞、挨拶

NO.3～5 : 第1課（教科書8頁～13頁）動詞の現在人称変化

NO.6～8 : 第2課（14頁～21頁）文法上の性と格

NO.9～10 : 第3課（22頁～27頁）命令形、複数形

NO.11～12 : 第4課（28頁～35頁）定冠詞類・不定冠詞類

NO.13～15 : 第5課（36頁～41頁）前置詞、人称代名詞

準備学習（予習・復習）：予習：辞書を引いてわからない単語を調べる。／復習：文法の表を暗記すること。

成績評価方法：期末試験（80%あるいはそれ以上）、および小テスト（20%あるいはそれ以下）で総合評価する。

教科書：『ブーメラン』 小野 寿美子ほか 著 （朝日出版社）

参考書：独和辞典（電子辞書可）

### A組 2班 宗宮 朋子

（教科書の前半を扱い、後半は後期科目「ドイツ語基礎」に引き継ぐ）

この授業ではドイツ語の基礎文法を作文問題などで確認します。また、ドイツ語で書かれた簡単な文章を読み、その内容についてドイツ語で答える練習もします。これらの演習を通して、ドイツ語の文法事項の定着を図り、読解力を養うことを目指します。

NO.1～2：発音のあらまし、1課・・・発音、動詞の現在人称変化（1） sein 動詞

NO.3～5：2～3課・・・動詞の現在人称変化（2）過去形、命令形

NO.6～8：4～5課・・・冠詞、人称代名詞 再帰代名詞・再帰動詞

NO.9～11：6課・・・前置詞、非人称動詞

NO.12～14：7～8課・・・形容詞、疑問詞、数詞 接続詞と従属節

準備学習（予習・復習）：予習：次に進む課の文法説明に目を通しておく。／復習：宿題をしながら、授業で新しく学んだ単語および文法項目を整理しておく。

成績評価方法：期末試験（小テストも含める）（80%）、授業への取り組み（20%）で総合評価する。

教科書：『ドイツに行ってみませんか（Ver.3）』 佐藤／ピナウ／中村 著 （郁文堂）

参考書：独和辞典は必ず持ってくること。

## B組 1班 澤元 互

教科書（前期は第1課～第5課）に準拠しながら解説と演習を行い、文法問題や簡単な会話練習を通じてドイツ語に親しんでもらいます。また、既習の項目を随時音読、復習し、記憶の定着を図ります。ドイツ語学習を通じてドイツとヨーロッパに対する関心と理解を深めたいと考えています。最初の授業のときに、学習の仕方、授業の進め方、評価の仕方などを詳しく説明します。

NO.1～3：第1課：自己紹介… 動詞の現在人称変化 (1)、語順

NO.4～6：第2課：大学構内… 名詞の性、人称代名詞、冠詞 (1)、名詞の複数形

NO.7～9：第3課：私の家族… 動詞の現在人称変化 (2)、命令形、冠詞化 (2)、否定文

NO.10～12：第4課：車で旅行… 話法の助動詞、前置詞、前置詞と冠詞の融合形

NO.13～15：第5課：夏の季節… 複合動詞、接続詞、形容詞の格変化

準備学習（予習・復習）：予習：付属のCDを繰り返し聴いて発音に慣れておいてください。／復習：最初は意味を感じながら音読し、だんだん速く音読できるようにしておいてください。

成績評価方法：原則として期末試験（100%）で判定します。

教科書：佐藤和弘、他著『ドイツに行ってみませんか〈Ver.3〉』郁文堂

参考書：辞書（指定なし）は必ず用意してください。電子辞書可。

## B組 2班 岩井 智子

前期（ドイツ語入門）と後期（ドイツ語基礎）あわせて、ドイツ語の文法をひと通り学習します。ドイツ語の読解・コミュニケーションのための基礎的な文法力を、練習によって養います。

テキストのコラムや視覚教材を通してドイツの文化・生活にも触れていきます。

NO.1～2：導入、アルファベットと発音

ドイツ語の発音、数詞、挨拶

NO.3～5：第1課（教科書8頁～13頁）人称代名詞と動詞の変化

第2課（14頁～19頁）sein, haben, werden、数詞

NO.6～8：第3課（20頁～24頁）不規則変化動詞

NO.9～10：第4課（25頁～29頁）定冠詞類、不定冠詞類

NO.11～13：第5課（30頁～35頁）複数形

第6課（36頁～41頁）人称代名詞

NO.14～15：第7課（42頁～46頁）前置詞

準備学習（予習・復習）：予習：辞書を引いてわからない単語を調べる。／復習：文法の表を暗記すること。

成績評価方法：期末試験（80%あるいはそれ以上）、小テスト（20%あるいはそれ以下）で総合評価する。

教科書：『アンファンング』矢羽々崇 他 著 （第三書房）

参考書：独和辞典（電子辞書可）

## C組 1班 宗宮 朋子

（教科書の前半を扱い、後半は後期科目「ドイツ語基礎」に引き継ぐ）

この授業ではドイツ語の基礎文法を学びます。問題演習を通して文法事項の定着を図り、様々なタイプの文章を理解できるようになることを目指します。

NO.1～2：発音、1課… つづりと発音、主語となる人称代名詞／動詞の現在人称変化 (1)

NO.3～5：2～3課… 名詞と冠詞／疑問詞、動詞の現在人称変化 (2)／命令形

NO.6～8：4～5課… 名詞の複数形／冠詞類の格変化／人称代名詞の格変化、前置詞の格支配／接続詞と副文

NO.9～11：6～7課… 形容詞の格変化／形容詞の名詞化／副詞、形容詞の比較

NO.12～14：8課… 動詞の3基本形／過去人称変化

準備学習（予習・復習）：予習：次に進む課の文法説明に目を通しておく。／復習：宿題をしながら、授業で新しく学んだ単語および文法項目を整理しておく。

成績評価方法：期末試験（小テストも含める）（80%）、授業への取り組み（20%）で総合評価する。

教科書：『新・文法システム15』西本／高田 著 （同人社）

参考書：独和辞典は必ず持ってくること。

## C組 2班 澤元 互

教科書（前期は第1課～第6課）に準拠しながら解説と演習を行い、文法問題や簡単な会話の練習を通じてドイツ語に親しんでもらいます。また、既習の項目を随時音読、復習し、記憶の定着を図ります。ドイツ語学習を通じてドイツとヨーロッパに対する関心と理解を深めたいと考えています。最初の授業のときに、学習の仕方、授業の進め方、評価の仕方などを詳しく説明します。

NO.1～3：第1課：自己紹介… 動詞の現在人称変化、語順

NO.3～5：第2課：家族紹介… 名詞と冠詞 (1)、haben の現在人称変化

NO.6～8：第3課：趣味… 不規則動詞の現在人称変化、名詞と冠詞 (2)、代名詞

NO.8～10：第4課：食事に行く … 話法の助動詞、名詞の複数形

NO.11～13：第5課：道を尋ねる … 前置詞

NO.13～15：第6課：夏休みの予定 … 分離動詞、従属接続詞と複文

**準備学習（予習・復習）：**予習：付属のCDを繰り返し聴いて発音に慣れておいてください。／復習：最初は意味を感じながら音読し、だんだん速く音読できるようにしておいてください。

**成績評価方法：**原則として期末試験（100％）で判定します。

**教科書：**櫻井麻美著『楽しく練習！ ドイツ語マイスター』三修社

**参考書：**辞書（指定なし）は必ず用意してください。電子辞書可。